

報告日 令和 6年 5月 15日 (水)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記
開催日時 令和 6年 5月 9日 (木) 午前 10:00 ~ 12:00	開催場所 金沢公会堂第2会議室
参加人数 男性 8名 女性 3名 合計 11名 (欠席者 3名)	
<p>今月の学習会は、伴四郎の日記 7月 7日から 16日までの 10日間の査読を行った。</p> <p>相変わらず、五郎右衛門、民助、直助などが伴四郎の住まいを出入りしている。その間には、日ごろ出入りしていると思われる店から、生活に必要な日用品や食料などを購入している。さらに、季節の祝い事、あるいは折あるごとに世話になった人々への返礼に品々のやり取りをしている。こうした情景は、現在の我々の生活と何ら変わらないことを思わせ、親しみが湧いてくる。</p> <p>さて、7月 9日の日記には、インキンたむしが伴四郎の下半身急所まで拡散し、おおいに困窮したことが記されている。著者の伴四郎は、まさか 160年以上を経た現在人に自分の日記を読まれようとは、夢にも思わなかったに違いない。現代人ならたとえ他人の目に触れない私的な日記といえども、インキンたむしの件は割愛するに違いない。今、伴四郎がこの世に現れたとしたら、どのような表情をするのだろうかと思像すると、滑稽さが込み上げてくる。</p>	
<p>次回予定 令和 6年 6月 13日 (木) 10:00~12:00</p> <p>場 所：金沢区民センター AB 会議室</p> <p>テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記</p>	